

編集後記

加藤達人先生、井手勝美先生、椎名市衛先生、ご多忙な中『禅』誌に玉稿をお寄せいただき誠にありがとうございました。改めて小川先生の至誠のご生涯に心打たれました。先生方におかれましては、今後とも宏道会にご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

宏道会の吉野櫻おうん雲居士と栗山令道居士は、『宏道』第24号に小川先生との最後の面会について書いております。この面会における小川先生のお言葉は、人間禅の修行者に対するご遺訓であります。

櫻雲居士問う「禅学にならないためには、どのような修行を心がけたらよいで

しょうか？」

小川先生いわ曰く「禅学は役に立たない。学問した人は頭が邪魔になる。坐るしかない。気合で坐るのだ。どのような気合で坐るかと言えば、大だいとう燈国師の気合。膝を折って坐った大燈国師の気合だ。どれだけ気合を入れてやれるかには、そこに人間差がある。」と。(櫻雲居士 注：大燈国師は入滅の時端坐しようとしたが、久しく足疾を患い結跏趺坐けっかふざができなかった。しかし、正しく坐禅することは祖師の正儀であると膝をへし折って正坐した。)

寶ほうきよう鏡庵長野善光老師曰く「気合は一朝一夕にできるものではなく、それには坐禅をすればよい。」と。

合掌 編集子

禅29号 (通巻209号) 定価500円 (税込)

平成21年5月25日発行

編集人 中 村 孝

発行人 佐 瀬 長 和

発行 人間禅出版部

〒272-0827 千葉県市川市国府台6-1-16

人間禅本部道場内

ファックス 047-373-7561

Eメール zenshi@ningenzen.org

ホームページ <http://www.ningenzen.org>